

News Letter

公益財団法人遺伝学普及会

contents

- ①共同代表理事の挨拶
事務所引越しのご案内
- ②トピックス
「遺伝学講座・みしま」(2/4)
一般公開実施(4/7)
雑誌「遺伝」5月号発行
- ③予定
「夏休み遺伝学講座」
日本遺伝学会「思考院」
- ④公益財団法人遺伝学普及会の概要
沿革、目的、
維持会員、役員紹介



代表理事:五條堀孝



代表理事:小林武彦

～共同代表理事の挨拶～

遺伝学普及会は、第2次世界大戦終戦後の昭和22年(1947年)まもなく、日本遺伝学会の総意により「財団法人 遺伝学研究所」として発足致しました。その後すぐの昭和24年(1949年)に、国会審議を経て当時の内閣によって、文部省の直轄研究所として「国立遺伝学研究所」が設立されたことに伴い、本法人は「財団法人 遺伝学普及会」に名称をかえて、遺伝学の普及活動を通して日本の生命科学研究の発展的に寄与してきました。

平成28年(2016年)には、政府の法人改革に従って、内閣府から公益法人を認定されました。そして昨年には、内閣府の許可のもとに定款を変更して、日本遺伝学会が本法人と合流することができました。このように、約70年の長きにわたって、本法人が活発に活動を行って来られましたのも、ご支援をいただいた皆様のお陰であります。

これからも、このニュースレターにありますような活動はもちろんのこと、広報活動にも力点を入れて、最新の遺伝学の進展やその有用性などを 広く皆様にお伝えするとともに、生命科学研究の発展にお役にたつように努力していく所存です。

皆様のさらなるご支援をどうかよろしくお願いいたします。

代表理事

五條堀孝(国立遺伝学研究所 名誉教授・早稲田大学招聘研究教授)
小林武彦(東京大学教授・日本遺伝学会会長)

日本遺伝学会と合流しました！

日本遺伝学会は100年以上の歴史をもつ生命系の学会の本家です。

70年前に普及会及び国立遺伝学研究所を作った生みの親でもあります。しかし日本遺伝学会は、法律的には任意団体のままでしたので、学会活動の幅がより広がるように合流いたしました。本合流により今後計り知れない相乗効果を生み出すと期待されます。ともに協力して日本の生命科学研究を益々盛り上げて参ります。

事務所引越しのご案内

当財団事務所は、平成30年4月より国立遺伝学研究所内A126から、日本遺伝学会の部屋A122へ移動し、事務所も合流いたしました。心機一転、これからも遺伝学普及の事業活動を充実していく所存でございます。今後とも変わらぬ御支援ご協力を宜しくお願い申し上げます。



住所: 〒411-8540 静岡県三島市谷田1111 国立遺伝学研究所内A122

TEL: 055-981-6857 FAX: 055-981-6877

<https://www.idengaku-fukyukai.info/> e-mail:genetics@nig.ac.jp

遺伝学講座・みしま (2018.2.4.sun)

平成30年 2月 4日 (日)、市民文化会館小ホールにて、「ヒト」をテーマに2つの講演が実施されました。

- ①食べ物とは体の中でどうなるか—遺伝子と代謝—
(講師：有田正規氏 (国立遺伝学研究所教授))
- ②遺伝でわかることわからないこと
(講師：井ノ上逸郎氏 (国立遺伝学研究所教授))



生命科学の分野で最先端の研究成果をあげる教授陣が市民向けに分かりやすく講演を行いました。三島市近隣の200名を超える方々が参加されました。



国立遺伝学研究所 一般公開 (2018.4.7.sat)

2018年4月7日 (土) に開催されました。

前日は風雨が強く、当日も強風となってしまいましたが、多くの方にご来場頂きました。

例年よりも桜の開花が早く、染井吉野は葉桜となっていましたが、話題の八重桜・菊桜が見頃でしたので、皆様満足されていたようです。当日は、普及会も「遺伝研のさくら」の冊子、「変化アサガオ」の種子、絵葉書等の頒布事業を行いました。



特別公開 (2018.4.8.sun)

2018年4月8日 (日) に開催されました。

施設内外周の桜を見学するために、新宿、横浜、名古屋など、各所からバスツアーでたくさんの方々が来られました。ツアーで来られたお客様方も、例年では見られない黄色い桜 (御衣黄・ウコン) や八重桜、菊桜が見られ、皆様桜に魅了されたようでした。



御衣黄



ウコン

サイエンスNOW放送中

FMみしま・かなみ (ボイス・キュー) で
毎週日曜日12:00~12:30 絶賛放送中です。
毎回、国立遺伝学研究所の先生方が、気になる「遺伝」のお話を始め、色々な話題を織り交ぜ、楽しいサイエンスな30分を作ってくださいませ。
過去の放送は、you tubeでも聞くことができます。



Upcoming Events

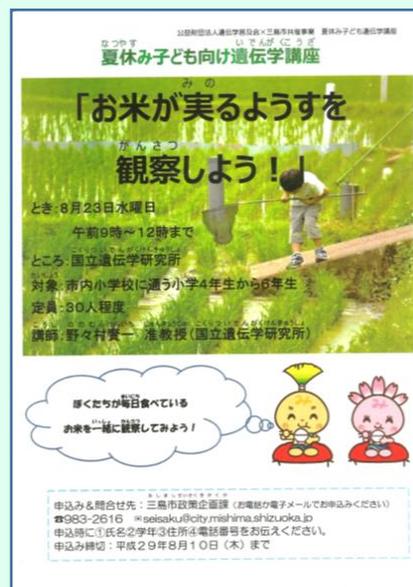
夏休み子ども遺伝学講座（2018）

三島市との連携と協力により、今年も国立遺伝学研究所内にて、「夏休み子ども遺伝学講座」を開催いたします！
今年は、「スマホ顕微鏡を使った観察」です。（講師：木村 暁 教授）
対象は小学4年生～6年生。
詳細はこれから決まります。どうぞ楽しみに。

昨年の夏休み子ども遺伝学講座では、、、

日時：平成29年8月23日(水曜日) 9:00～12:00
場所：国立遺伝学研究所
講師：野々村 賢一 准教授（国立遺伝学研究所）

小学4年生～6年生 20人が参加しました。
5つの班にわかれ、稲が開花したあと、雌しべがどのように変化するかを実際に取りだし、実体顕微鏡を用いて観察しました。
最後は、班ごとに気づいたことを発表しあいました。
子供達にとっても盛況でした。



雑誌「遺伝」2018.No3 発行

http://www.nts-book.co.jp/item/detail/summary/bio/20051225_42.html

奇数月1日、隔月に刊行されている、生物の科学「遺伝」の、
2018年5月発行号 Vol.72 No.3が、5月1日に刊行されます。

【特集Ⅰ】 宝石サンゴ研究の最前線

【特集Ⅱ】 変わる光合成研究～光エネルギー変換の時空間的理解を目指して

生物の科学「遺伝」バックナンバー

2018年3月発行号 Vol.72 No.2

【特集Ⅰ】 腸の世界Ⅱ～腸内マイクロビオータと疾病

【特集Ⅱ】 世界のアホウドリの保護と保全



シニア科学アカデミー（日々思考実践院）

退職した遺伝学関係の研究者が活動するための組織として2017年に立ち上げました。
（会長：池村淑道氏）
只今、HP作成準備中です。

概要

沿革の抜粋

昭和22年（1947年）5月23日 国立遺伝学研究所設立の準備母体として（財）遺伝学研究所を設立
昭和25年（1950年）11月10日 （財）遺伝学普及会に改称
平成26年（2014年）4月1日 内閣府の認可を受け、公益財団法人遺伝学普及会となる
平成29年（2017年）4月1日 日本遺伝学会が、（公財）遺伝学普及会の所属団体となる

目的（定款の抜粋）

この法人は、目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 遺伝学に関する研究の助成
- (2) 遺伝学に関する講演・講習会の実施
- (3) 遺伝学に関する図書・雑誌の編集及び刊行
- (4) 遺伝学に関する教育資料の頒布
- (5) 動植物に関する優良品種の普及
- (6) その他目的を達するために必要な事業

維持会員（2018年4月現在）

団体会員

株式会社裳華房代表取締役社長
株式会社トミ-精工代表取締役社長
日本クリア株式会社代表取締役
株式会社池田理化代表取締役
株式会社エヌ・ティー・エス代表取締役
遠藤科学株式会社取締役社長
順天堂大学医学部附属静岡病院院長
三島信用金庫理事長
三島市市長
三嶋大社宮司

個人会員

吉野 和浩 公益財団法人平和中島財団理事長 中島 潤
富永健二郎 (株)新健食・富士ウエルネスセンター
木本 重信 代表取締役 佐々木 雅浩
高橋 秀雄
吉田 隆
遠藤 一秀
三橋 直樹
平井 敏雄
豊岡 武士
矢田部盛男

役員（2018年4月現在）

代表理事

五條堀 孝 アブドラ国王科学技術大学
ディステイングイッシュト・プロフェッサー
国立遺伝学研究所名誉教授
小林 武彦 東京大学教授
・エピゲノム疾患研究センター長

業務執行理事

城石 俊彦 国立遺伝学研究所副所長・教授
斎藤 成也 国立遺伝学研究所教授
・東京大学大学院教授（兼任）
・総合研究大学院大学教授

理事

小幡 裕一 理化学研究所
バイオリソース研究センターセンター長
遠藤 隆 龍谷大学教授

監事

佐藤 清 国立遺伝学研究所 NBRP広報室顧問

評議員

山口 建 静岡県立静岡がんセンター総長
(兼)研究所長
(併任)静岡県理事
石和 貞男 お茶の水女子大学名誉教授
池村 淑道 長浜バイオ大学客員教授(名誉教授)
・国立遺伝学研究所名誉教授
勝部 定信 整形外科函南クリニック院長
菅原 秀明 国立遺伝学研究所名誉教授
高畑 尚之 総合研究大学院大学前学長
川内 十郎 静岡新聞社文化部長兼論説委員
嵯峨井 均 元旭化成ファーマ株式会社
桜井 豊 沼津市民文化センター館長
颯田 葉子 総合研究大学院大学教授・
学融合推進センターセンター長
峰田 武 公益財団法人佐野美術館理事長
桂 勲 国立遺伝学研究所所長
吉田 隆 株式会社エヌ・ティー・エス代表取締役社長